

S-cubic 通信2026 No.20

北海道大学 教育イノベーション機構

キャリアデザインセンター 博士人材育成ユニット

# 大学院生 のための 進路選択 ガイド

Career Path Guide



S-cubic

研究が楽しくて  
博士後期課程に  
進学したけど…

アカデミアに  
進みたいけど  
将来が見えないし…

自分の専門を  
活かせる企業が  
思い浮かばない…

周りには  
キャリア相談  
できる同期が  
少ないし…

研究が忙しくて  
就職活動が  
なかなか  
できない…



そんなあなたは、まず企業とも接してみよう、研究をする場合でも産業界という広く大きな世界がある事に気が付きます。

思いもよらない企業があなただのような人材を探しているかも

P4でHi-Systemへまず登録、P12へGo!

D2/D3/PD  
Type.1

### 【研究没頭タイプ】

●一生懸命研究に没頭し、気づいたら…さて将来どうしよう!!

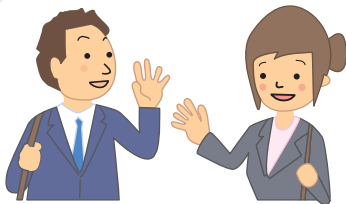
## あなたはどのタイプ?

### 【計画設計タイプ】

Type.2  
M1/M2/D1

●DC進学か就職か、考え時だなあ…

●まだ余裕があるぞ、アカデミアか企業か、しっかりと情報収集しよう!!



そんなあなたは、自分の専門性の活かし方を探ってみよう、そしてプラスアルファのスキル習得で大きく幅を広げられるかも

P4でHi-Systemへまず登録、P6へGo!

早いうちに複数の選択肢を検討しておきたい…

研究は楽しいけれど博士後期課程は将来が不安…

企業ではどのような研究ができるんだろうか…

大学と企業って研究のやり方が違うのかなあ…

社会に出てから役立つスキルを身に着けたい

# キャリアデザインセンターが提供するプログラム全体像

※どの段階からでも利用できます。

## 企業就職 ▶ 活動開始

実践参加型  
(DC・PD)

意識改革型  
(MC・DC・PD)

⑪ 博士力実践インターンシップ

業務を経験  
……P16へ

⑩ 企業研究サイトビジット

企業で論議  
……P15へ

⑨ 赤い糸会

企業と論議  
……P13へ

⑧ J-window (キャリア相談)

DC・PD限定  
……P12へ

実践重視のD2、D3、PDへ

⑦ ビジネスマナーの基本と実践

常識を知る  
……P7へ

⑥ エントリーシート書き方セミナー

実践につなげる  
……P7へ

⑤ 小論文・作文セミナー

実践につなげる  
……P8へ

④ キャリアパス多様化支援セミナー

仕事を知る  
……P11へ

③ Advanced COSA / COLA

企業を知る  
……P9へ

② キャリアマネジメントセミナー

企業を知る  
……P6へ

余裕のあるM1～D1へ

① Hi-System 登録

まずは  
ここから!

全員登録!  
……P4へ

# ① Hi-System登録 (Registration to the Hi-System)

MC・DC・PD

イベントの  
お知らせが  
届きます  
(Event News)

企業情報や  
就職情報の  
閲覧が可能  
(Company Info)

企業への  
自己PRを  
発信できます!  
(Expose your PR  
Information)

## Hi-System

若手研究者 (MC/DC/PD) の社会活躍をサポートするWEBサイト  
Exclusive information exchange platform

Hi-SystemへはキャリアデザインNaviホームページもしくは、  
下記QRコードよりアクセス!

Access Hi-System via the Career Design Navi website  
or by using the QR code below!

<https://career-navi.synfoster.hokudai.ac.jp/>



Hi-System登録ページ  
Hi-System Registration Page

## みなさんをサポートするチームです

### S-cubic

S-cubicは大学院生のキャリア形成支援活動を推進しています。DC進学を考えているMCから、DC在學生、またPDの皆さんが多様なキャリア、特に産業界へ進むために必要な情報や実践スキルの提供、カウンセリング、産業界とのマッチングの場の設定、インターンシップ派遣など、幅広く濃密なサービスを提供しています。Hi-Systemに登録し、積極的に活用して下さい。

### COFRe

COFReはS-cubicで実施しているプログラムに加え、12大学(東北大学、新潟大学、筑波大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、名古屋大学、立命館大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学)の様々なプログラムを北大の皆さんに提供しています。是非、それらの開催情報をお知らせするHi-Systemに登録し、企業と皆さんのマッチングやスキルアップにご活用ください。

### I-HoP

I-HoPは博士人材のための英語プログラムを実施しています。英語でのキャリア相談など、是非ご活用ください。

## 情報をすばやくキャッチアップ!

キャリアデザインセンターでは、HP、動画配信サイトやSNSなどで情報発信をしています。こちらもぜひご活用ください。

### ■キャリアデザインNaviホームページ

キャリアデザインセンターの取り組みやイベント情報などを掲載  
<https://career-navi.synfoster.hokudai.ac.jp/>



各サイト及び  
SNSへのアクセスはこちらから

### ■COFRe動画配信サイト

ガイダンスや活用法を動画で配信  
<https://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp/cgi-bin/video/video.cgi>

### ■X

セミナーや採用情報をお知らせ  
<https://x.com/HokudaiDCcareer/>

### ■note

博士人材のキャリア支援コラム  
<https://note.com/hokudaidccareer/>

## ② キャリアマネジメントセミナー（授業）

MC・DC・PD

1. イノベーションの本質がわかる!
2. 企業の研究開発の考え方がわかる!
3. 社会で活躍するスキルが身につく!

企業就職を目指す大学院生(MC・DC)や博士研究員(PD)向けの、1コマ毎の読み切りタイプの授業です。大学と企業での研究活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマーケティング、マネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップ、企画書の書き方など実践的な内容です。昨年は500人近くの受講者がありました。

1. 大学院共通授業科目  
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目  
(研究指導科目を含む)  
キャリア実践科目「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目  
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)

### 2026年度実施予定

開催日時:2026年4月～7月  
毎週1コマ 全15回

### 受講方法(予定)

- ①Hi-Systemに登録し、イベント情報から「2026年度キャリアマネジメントセミナー」へ申込み。
  - ②単位希望者は①に加えて所属部局に履修届を提出。
- ※詳細はシラバスをご覧ください

### 2025年度実施状況

※講義動画の配信により実施

	講義内容	講師	
1	イントロダクション	先端人材育成センター	吉原拓也
2	イノベーションを起こす	先端人材育成センター	吉原拓也
3	企業の種類と分析	先端人材育成センター	片垣麻理子
4	自己理解	先端人材育成センター	村上理恵子
5	プレゼンテーション	イノベーターズ・キャリア・サポート	松尾誠二
6	知的財産マネジメント	NEC特許技術情報センター	奥田慶文
7	アントレプレナーシップ	ベビログ	板羽宣人
8	マーケティング	日本電気	小糸達也
9	発想法	東京大学	藤本徹
10	商品創造/新商品開発	セコム	甘利康文
11	企画書の書き方	先端人材育成センター	吉原拓也
12	企業(1)先端技術と新規事業	ANAホールディングス	津田佳明
13	企業(2)先端技術と新規事業	ソニーグループ	矢藤有希
14	企業(3)先端技術と新規事業	ハウス食品グループ本社	上野正一
15	リーダーシップ	LabBase	板倉朋宏



### 2025年度受講者アンケートより

## 受講者の声

オンデマンド形式なのがとてもありがたかったです。講義で学んだことをキャリア形成に活かしていきたいです。

様々なキャリアマネジメントスキルを学び、習得できただけでなく、実際に企業に勤めるかたの話や聞くことで、具体的に就職後に必要なスキル、考え方や姿勢を知ることができたので良かったです。

講義を受けなければ学べなかったことがたくさんあり、受講してよかったと思いました。特に春タームは授業や研究に追われて就職活動にしっかりと取り組めず焦りと不安を感じていましたが、キャリアマネジメントセミナーを受けていたことで就職活動や企業、働き方などについて学ぶことができるとともに、精神的にも少し安心でき非常にありがたかったです。

## ⑥⑦ キャリアマネジメントセミナー（演習）

MC・DC・PD

1. 良い第一印象が身につく!
2. コミュニケーション力が向上する!
3. 博士らしいESが書けるようになる!

社会との接点構築に必要なビジネスマナー（礼儀作法、服装、挨拶など）及びビジネスコミュニケーションに関するセミナーと、エントリーシートの考え方を学ぶセミナーです。

ANAビジネスソリューション(株)及び(株)エマージングテクノロジーズより経験豊かな講師をお迎えしています。

### ビジネスマナーの基本と実践

2026年度実施予定

2026年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象

#### 2025年度実施状況

※オンラインで実施



ANAビジネスソリューション・高原講師

社会人としてふさわしい接遇（おもてなし）の具体的な表現方法や、オンラインでのコミュニケーションのポイントをペアワークなどの演習をまじえながら学びます。

2025年度受講者アンケートより

面接練習での経験は、企業面接などですぐ役に立つと思う。また、それ以外の面でも対人スキルの根本として役立つ考え方を学ぶことができた。

もっと決まった「すべき」マナーを学ぶものだと思っていたので、実際に実践できるとっておらず驚きました。大変有意義でした。

本セミナーは講義などで学ぶ機会がなかった内容であり、また実際に声に出したり、体を動かしたり出来たところが有意義だと感じました。

### エントリーシート書き方セミナー

2026年度実施予定

2026年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

研究開発職向けのES書き方セミナーです。

webサイトに掲載されている一般的な書き方のテクニックではなく、大学院生ならではのES作成に向けた考え方を具体的に説明します。

#### 2025年度実施状況

※オンラインで実施



エマージングテクノロジーズ・深澤講師

2025年度受講者アンケートより

自分の伝えたいと思った内容からどんどんzoom outしていくことで研究概要や志望動機などをわかりやすく書くことができるというのは、今後たくさん活用していきたいと思いました。

企業がエントリーシートをどういう目線で見ているのか勉強になりました。

## ⑤ キャリアマネジメントセミナー（演習）

MC・DC・PD

- 1.文章を書く基本がわかる！
- 2.文章を書く仕事のマインドセットがわかる！
- 3.自分が文章を書くときの癖がわかる！

マスコミ・サイエンスコミュニケーター等の就活のためのマインドセットや、採用試験の小論文・作文対策のため基本的なストーリーの作り方を学べるセミナーです。

（株）イノベーターズ・キャリア・サポート（ICaS）より経験豊かな講師をお迎えしています。

### 小論文・作文セミナー

～マスコミ・サイエンスコミュニケーター等を志望する方に役立つ就活対策～

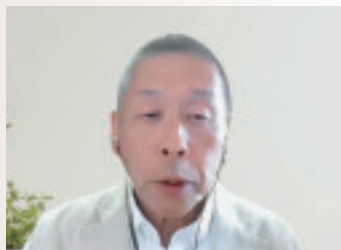
2026年度実施予定

2026年8月～10月（予定）  
MC・DC・PD対象（DC・PD優先）

2025年度受講者アンケートより

#### 2025年度実施状況

※オンラインで実施



イノベーターズキャリアサポート  
松尾講師

実際に事前課題で書いた作文と比べて、セミナー後に書いた作文は格段に読みやすくなった。どうすれば読みやすいのか、構造はどのようにすればよいのかがわかったような気がする。

大変有意義なセミナーでした。理系の学生が受講できる作文セミナーはあまりなく、今後役に立ちそうです。

### 小論文・作文添削

2026年度実施予定

2026年8月～10月（予定）  
MC・DC・PD対象（DC・PD優先）

決められた時間・文字数で作文を執筆していただき、講師が添削します。実際に執筆してみるとより効果的です。

2025年度受講者アンケートより

アドバイスが明瞭であり、どのように修正すべきかがわかりやすかった。  
他の方はどのような文章を書いているのかも知りたいと感じた。  
アドバイスが細かく大変ためになった。

# ③ Advanced COSA

MC・DC・PD

1. 企業の研究開発の実際を知ろう!
2. 企業人の研究開発人生を知ろう!
3. 企業で活躍する先輩達と話そう!

企業研究開発の第一線で活躍されている研究マネージャークラスの方を主な講師としてお招きし、大学の中では触れることの少ない企業研究の実際やその魅力、研究マネジメントや博士の活躍ぶりなどを事例も交えて紹介します。また、若手企業人もお呼びして年齢の近い企業研究者のお話も盛り込みます。

1. 大学院共通授業科目  
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」  
—Advanced COSA(1)、(2)—(各1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)  
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」  
(Advanced COSA(1)、(2)) (各1単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目  
「ステップアップキャリア形成I、II」(各1単位)

## 2026年度開催予定

Advanced COSA(1):2026年7月頃(予定)  
Advanced COSA(2):2026年11月頃(予定)

### スケジュール

(1日目)	(2日目)
・ガイダンス(10分)	・企業講師③講演(60分)
・企業講師①講演(100分)	・質疑応答(50分)
・昼休み(60分)	・企業講師④講演(60分)
・質疑応答(50分)	・昼休み(60分)
・企業講師②講演(100分)	・質疑応答(50分)
・質疑応答(50分)	・企業講師⑤講演(60分)
	・質疑応答(50分)
	・総括討論、まとめ(20分)

※詳細はシラバスをご覧ください

### これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■ 旭化成	■ 東北大学
■ アラヤ	■ 東レ
■ ウェザーニューズ	■ トクヤマ
■ 大塚製薬	■ 新潟大学
■ 川崎重工	■ 日本アイ・ビー・エム
■ 京セラ	■ 日本電気
■ 協和キリン	■ 日本電気特許技術情報センター
■ クレハ	■ パスコ
■ 神戸製鋼所	■ パナソニックグループ
■ コーセー	■ ヘンケルジャパン
■ 資生堂	■ 堀場製作所
■ 島津製作所	■ マルハニチロ
■ 昭和電工	■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
■ 住友ファーマ	■ 三菱電機
■ 住友化学	■ メタジェン
■ セロテック	■ ヤンマー
■ ダイセル	■ 横浜国立大学
■ 武田薬品工業	■ ライオン
■ 大日本印刷	■ ラクオリア創薬
■ 中外製薬	■ リコー
■ テルモ	■ レゾナック
■ 東芝	

### 2025年度実施状況



旭化成-伊勢田講師



パナソニック-安部講師



パスコ-山谷講師



住友化学-フェレイラダローサ講師



島津製作所-中岡講師



元製薬企業メディカルアフェアーズ-林講師



セロテック-仲野講師



ウェザーニューズ-泉本講師



製造業主任-小松講師



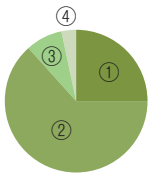
みずほ第一フィナンシャルテクノロジー-馬場講師

## 2025年度受講者アンケートより

### 質問1:企業での研究開発に魅力を感じたか?

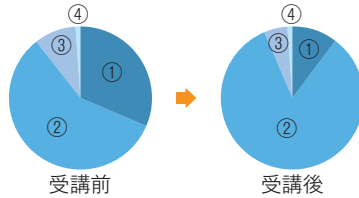
- ①大変魅力を感じた
- ②ある程度魅力を感じた
- ③どちらでもない
- ④感じられなかった

①②の肯定的な感想が88%



### 質問2:講義を聴く前後での企業研究の理解度の変化

- ①よく理解している
  - ②ある程度理解している
  - ③よく理解していない
  - ④全く理解していない
- ①②のある程度以上 理解の比率が89%→93%



### ■受講生より■

- もともと研究開発職にこだわりはなかったが、研究開発以外の職になった方の話が多く聞けて、とても興味深かった。
- 自分のキャリアの見つけ方も、人によって能動的であったり受動的であったりするなど、様々な方法があると気づきました。
- 実際の業務内容を聞けたのは、研究職などに対する具体的な理解に大いに役立った。企業とアカデミアどちらが辛いかわきたいな話も、個々人の価値観を踏まえた上で環境がどのように異なるかを想像できて印象に残った。

## 先輩からひとこと

フェレイラダロサペドロパウロ  
Ferreira da Rosa Pedro Paulo

住友化学株式会社  
ICT & モビリティ研究所  
2022年3月 北海道大学大学院  
総合化学院 博士後期課程修了



私が初めてAdvanced-COSAに参加したのは修士課程のときでした。在学中に何度も参加し、企業で働く方々の個人的なキャリアや価値観の変化を深く聞けるのはAdvanced-COSAならではの気づきでした。今回講演者側に立ち、北大OBとして「できることは何でも協力したい!」という気持ちが湧いてくることを実感しました。講演後に積極的に質問や声をかけてくださる方を見ると、本当に嬉しく思います。

私が特に伝えたいのは「自分の専門性に囚われすぎない」ということです。私は大学で無機材料科学を専攻していましたが、現在はディスプレイ用カラーレジストの開発に携わっています。大学時代にがむしゃらに研究に取り組む中で身につけた情報収集力や仮説立案能力は、どの分野でも通用しています。大学時代の専門性よりも、研究を通じて培った姿勢や思考プロセスの方が長く活きるのです。専門性にこだわりすぎず、いろいろな企業にチャレンジしてみたいかがでしょうか。

私は博士課程修了後に民間企業へ就職すると決めていましたが、企業選びの軸は当初は「S-cubicの面談や赤い糸会を活用して価値観を掘り下げ、最終的にはポートフォリオカンパニーに絞りました。赤い糸会での1対1の交流は貴重で、「人と人との繋がり」があったからこそ納得して就職先を決められました。

私はブラジル出身で、2012年来日し北海道で10年間過ごしました。外国人として就職活動をするには不安もありましたが、外国人だからこそ得られた視点もありました。ただし、日本語能力試験N1レベル以上を目指すことを強くお勧めします。会社では毎日高いレベルの議論や会議が求められ、日本語で正確に伝える能力は研究職でも必須だからです。

学業との両立は大変ですが、そんなときこそ一歩外に出てみましょう。Advanced-COSAは行動を起こすきっかけを与えてくれるでしょう。あとはみなさんが踏み出すかどうかです。皆様のご活躍をお祈りしております。

## Advanced COSAに参加して

ショウ 鍾  
レイケツ 禮傑

医学院 医学専攻 (DC3)  
2027年9月修了予定



アニメやドラマなどの日本文化に惹かれて日本に留学する学生は多いと思います。そのあと、日本で働きたいと考える留学生も少なくありません。しかし、アニメやドラマに描かれる職場と、実際の日本の職場は大きく異なり、その違いを理解するための機会には、実際に少ないと感じています。特に、専門知識や高度な技術が求められる研究開発職については、得られる情報がさらに限られています。そのため、OB・OGの方々が講演を行い、質問ができるA-COSAに参加してみました。

A-COSAでは、日本人のOB・OGがご自身の人生や価値観について語ってくださるだけでなく、北海道大学出身の外国人OB・OGの就職活動の経験も聞くことができます。私にとって非常に参考になる機会でした。

私は香港出身で、大学まで専門用語は英語で学んできました。そのため、日本企業に就職する場合には専門用語を日本語に置き換えて学ぶ必要があり、これが大きな壁であり、長い間不安に感じていました。しかし、研究職に就いているブラジル出身の先輩から、日本語の専門用語を習得するまでの道筋やコツを聞くことができ、実際のアドバイスもいただきました。また、研究職で求められる日本語レベルについても、具体的なイメージを持つことができました。

A-COSAの大きな特徴は、質問時間が十分に設けられていることです。講師の学生時代の研究内容から、実際の仕事に関することまで、幅広く質問することができます。講師の方々、仕事の中で直面した課題や、その際の対処法についても具体的に話してください。

博士課程の皆さんは課題解決の経験が豊富であるため、「自分ならこの方法で試みるが、このやり方でも通用するのか」といった実践的な質問もできます。私自身もそのような質問をし、いただいた解答が、大学と企業では価値観や考え方が異なることを強く実感しました。

日本人学生はもちろん、日本での就職を考えている留学生にも、ぜひA-COSAに参加してほしいと思います。就職活動だけでなく、将来のキャリアや人生設計に役立つ情報を多く得ることができる貴重な機会です。

# Advanced COLA

MC・DC・PD

人文・社会科学系大学院(博士課程)を修了後、産業界に活躍の場を見出された企業人の方3名をお招きし、人文・社会科学系大学院で学び、そこで身につけた教養が産業界でどのように活用できるのか、大学の中ではなかなか知ることのできない企業活動の実態やその魅力を語っていただきます。また、人文・社会科学系の博士だからこそできる社会の課題解決についても論議します。

### 2025年度実施状況



日本貿易振興機構アジア経済研究所 金講師



ヤマハ発動機 末神講師



スポーツニッポン新聞社 山内講師

### 2025年度受講者アンケートより

講演者の方々が実際にどのようなプロセスを経て今のキャリアに至ったのか、具体的なお話を聞くことができ、今まで知ることができていなかった領域にも興味を持つきっかけとなりました。

研究者の道と、研究者以外の仕事をする道の間をまさに今歩んでいる方のお話を聞けて良かった。こんな企業研究がしてみたいと思い、就活を続けるモチベーションになった。

## ④ キャリアパス多様化支援セミナー

MC・DC・PD

- 1.ファシリテーションを実体験!
- 2.研究室でも活かせる交渉力!
- 3.専門性をアピールするプレゼン力!

大学院で学んだ専門性を幅広く社会で活かすためのスキルとして、ファシリテーション、交渉学、プレゼンテーションを身に付けるセミナーです。これらのスキルは知識として知っているだけでは、なかなか役に立ちません。基本的な事項を学んだ後、実際に演習をして、自分の癖や特徴を知り、それらを活かす方法を見つけ出しましょう。

- 1.大学院共通授業科目  
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」(1単位)
- 2.生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)  
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください(単位に関してはDC限定)

### 2026年度実施予定

#### I(プロジェクトファシリテーション):2026年6月頃(予定)

会議運営の課題を共有し、ファシリテーションによる効率的かつ効果的な会議運営術を学びます。ファシリテーションとは、グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと、またそのための技術のことを指します。

#### II(交渉学):2026年7月頃(予定)

交渉学を学習するために作成されたケースを用い、交渉の事前準備と交渉シナリオ作成、ロールシミュレーション(模擬交渉)の実施と交渉結果のフィードバックを通じて交渉学の基礎を実践的に学びます。

#### III(研究力アピール強化ワークショップ):2026年11月頃(予定)

大学院生の最も大きな特徴は研究力が高いことです。しかし、学会と同じようなプレゼンでは、企業就職やアカポス獲得のようなキャリアを切り開く際には高い評価が得られません。自身の特徴や研究力をアピールするプレゼンを演習で身に付けます。

### 2025年度実施状況

#### I プロジェクトファシリテーション



古河電気工業・関講師

#### 2025年度受講者アンケートより

会議の事前準備やファシリテーションのスキルは、研究室や職場でも役立つと感じました。

実際にミニ会議を体験することで、会議を主導(または隠れファシリテーター)するにあたり、会議の目標や時間配分を明確に決めておくことで迷いにくくなり、会議の参加者全体がより有意義な議論をしやすくなるということが改めて分かった。

#### II 交渉学



東京富士大学・隅田講師

#### 2025年度受講者アンケートより

直接的な損得だけでなく、自分の強みや相手との共通目標を活かして、より自分も相手も納得できる交渉に繋がれることが実感できた。

日常生活における人間関係を振り返ると、交渉の連続だなあと改めて感じるきっかけになりました。だからこそ、今回の授業で得られたことを活かしていきたい、と考えています。

#### III 研究力アピール強化ワークショップ



エマージングテクノロジーズ・深澤講師

#### 2025年度受講者アンケートより

自分の研究という具体的な題材をどのように自分という抽象的なものをアピールするために使えばいいのかということを考えることが出来ました。

制限された時間内(今回のゼミで3分)でどのように研究紹介をするうちに、自己アピールすること、非常に勉強になりました。そして、企業の視点から研究力を理解するのが大事なこと、企業はどのような人材を求めているの深く理解できました。

1. 企業と博士の接点を構築します!
2. 自分の特徴を活かす進路を探索!
3. プライベートな事も相談可!

WEBで得られる就活やキャリアに関する情報は学部生向けが多いため、専門性が高い大学院生が参考になると、その能力を活かすことができない結果になりがちです。また、大学院生の専門性を活かすキャリアは、その専門領域毎に異なるため、WEBから知識を得ることは困難です。博士課程の学生や博士を目指す大学院前期課程の学生はできるだけ早い時期にJ-windowで個別相談することをお勧めします。

## 主な就職先

(敬称略、五十音順)

■ アクセンチュア	■ 構造計画研究所	■ 島津製作所	■ トクヤマ	■ HOYA
■ 味の素	■ 神戸製鋼所	■ 住友金属鉱山	■ 日本入試センター	■ 三菱ケミカル
■ あすか製薬	■ サントリー HD	■ 第一三共	■ 農研機構	■ 代々木ゼミナール
■ 大塚製薬	■ 塩野義製薬	■ 大日本印刷	■ 富士通	■ Rapidus
■ 花王	■ 資生堂	■ 東レ	■ 富士通エンジニアリングテクノロジーズ	■ ロート製薬

### J-window を活用して

川口 虹穂

国際感染症学院 感染症学専攻 (DC4)  
2026年3月修了予定  
→塩野義製薬株式会社内定



私がJ-windowを初めて利用したのは、海外留学を控えた博士1年の夏でした。当時は製薬企業への就職を漠然と考えている程度でしたが、吉原さんへの相談を通じて「留学経験をどう就職活動のアピールに繋げるか」という明確な視点を定めることができました。この助言のおかげで、留学中も現地の製薬企業社員へのヒアリングなど、能動的に動くことができたと感じています。

翌年には「赤い糸会」に参加しましたが、本格的に企業就職と向き合う中で「自分が将来本当にしたいことは何なのか」が分からなくなり、再び相談に行きました。吉原さんや村上さんと対話し、自問自答を繰り返して思考を言語化することで、気持ちを整理すると共に自身の強みを明確にすることができました。

特に手厚くご指導いただいたのがES作成と面接対策です。専門用語を多用し難解な説明になりがちだった私にとって、「研究費の申請書とは異なり、結果よりも思考や行動のプロセスを伝えることが重要」という指導や、「堅さを抜き、自分らしさを出す」という助言は、大きな気づきとなりました。お二人に何度も練習いただいて臨んだ本番では、面接官から「思考プロセスが分かりやすく、研究への熱意が伝わった」と評価され、内定へと繋がることができました。

研究に追われ、周囲に就活生が少ない博士課程において、J-windowは人生相談から実践的な対策まで支えてくれる心強い存在です。特に近年、博士課程に対する企業の就活時期は早期化しており、気づいたら始まっていたという事態になりかねません。「まだ早い」と思う時期こそ、ぜひ足を運んでみてください。早期に自分の立ち位置を知ることで、研究と就活双方へのモチベーションが上がり、余裕を持って選択肢を広げることができるはずです。

最後に、温かいサポートをいただいたキャリアデザインセンターの皆様、特に吉原さんと村上さんに、この場を借りて深くお礼申し上げます。

### J-window を活用して

小亀 翔揮

医理工学院 医理工学専攻 (DC3)  
2026年3月修了予定  
→トヨタ自動車株式会社内定



私が初めてJ-windowを利用したのは、修士1年の1月でした。当時、具体的な将来像は定まっていませんでしたが、「今の研究活動をもう少し続けたい」という思いがありました。しかし、所属研究室の先輩はアカデミアや病院職の方がほとんどで企業就職に関する情報を得るのが難しく、「博士進学の企業就職は困難ではないか」という周囲の噂にも不安を感じていました。そんな中、面談を通じて、博士課程での経験が企業就職にも活かせること、自分の専門外の分野でも活躍できることを知りました。当時は就職活動よりも研究を行いたいという気持ちが強かったため、「それならまずは博士で研究に没頭しよう」と背中を押していただき、進学を決意する大きなきっかけとなりました。

博士進学後も定期的に面談を重ね、進路以外にも研究に取り組む姿勢やメンタル面についても相談に乗っていただきました。面談の中で、自分のモチベーションの源泉や、将来どうありたいかという潜在的な思いを引き出しただけだったことは、進路決定の強力な指針となりました。また、「赤い糸会」などで企業の方と直接お話しできたことも、企業就職への決意を固める要因となりました。そして、面談を重ねていく中で、当初希望していた業界ではなく、異なる業界で働いてみたいと思うようになりました。実際の就活では現在の研究分野とは全く異なる業界の企業を受けたため、情報収集やアピール方法に苦労しましたが、特に企業目線からの先生方の的確なアドバイスののおかげで自分の想いをしっかり伝えることができました。突飛な進路選択に不安を感じることもありましたが、背中を押し続けてくださったのはキャリアデザインセンターの先生方です。

将来のビジョンが決まっていらない、研究と進路に迷っている方は、ぜひ気軽にJ-windowを利用してみてください。自分でも気づいていない新たな選択肢が見つかるかもしれません。最後になりますが、温かくご指導いただいた吉原さん、村上さん、キャリアデザインセンターの皆様にご心より感謝申し上げます。

1. 博士に対する企業の期待を聞く!
2. 博士の力を企業にアピールする!
3. 活躍できるフィールドを拡大する!

赤い糸会は異なる業界の企業と様々な分野の博士人材が相互交流し、博士人材が活躍できる場を探索するマッチングの場です。参加企業は自社の事業や研究開発の内容および博士人材への期待を発表し、博士人材は自身の研究内容や人となりアピールし、さらには意見交換することにより、研究所見学やインターンシップ、個別相談等の次のステップに繋がります。北大の博士を採用したい企業が参加するので、他のイベントよりもマッチングする確率が高いことが特徴です。

1. 大学院共通授業科目  
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」  
(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)  
専門科目(研究指導科目を含む)  
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」  
(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください

## 2026年度実施予定

2026年4月~12月に3回程度実施予定

### オンライン実施時のスケジュール

(事前)	(当日)
・企業動画視聴	・博士人材プレゼン
	・企業ルーム交流
	・情報交換交流会

### 対面実施時の1日スケジュール

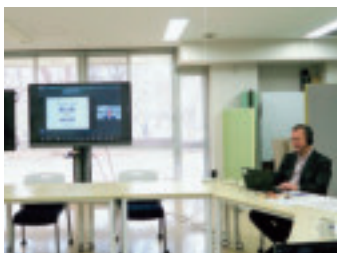
- ・主旨説明(20分)
- ・企業講演(120分)
- ・昼休み(60分)
- ・博士人材のポスター発表(130分)
- ・企業との個別交流(120分)
- ・情報交換交流会(90分)

### 2025年度参加企業

(敬称略、五十音順)

■ 旭化成	■ 三桜工業	■ 日本製鉄
■ アステラス製薬	■ 産業技術総合研究所	■ 日本電気
■ アミノアップ	■ JSR	■ 日本ベーリンガー インゲルハイム
■ アルビオン	■ 塩野義製薬	■ 日本たばこ産業
■ エーザイ	■ 資生堂	■ 日本入試センター
■ SAPジャパン	■ 島津製作所	■ パナソニックグループ
■ NTT	■ 住友化学	■ 日立製作所
■ 京セラ	■ 住友ファーマ	■ 富士通
■ 協和キリン	■ 第一三共	■ 北海道立総合研究機構
■ キリンホールディングス	■ テルモ	■ レゾナック
■ クレハ	■ トクヤマ	
■ 神戸製鋼所	■ とめ研究所	
■ コニカミノルタ	■ 日経BP	

## 2025年度実施状況



個別交流会(オンライン)



企業講演



ポスター発表



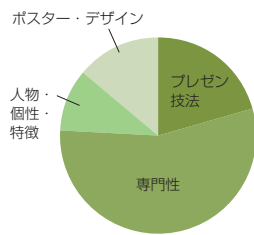
個別交流会

2025年度の総参加延べ数 企業:36社、博士人材:94名

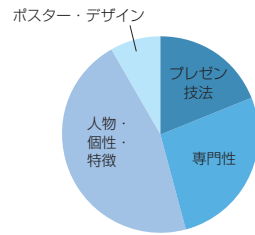
## 2025年度のアンケート結果

### ポスター発表について

#### 博士人材がアピールできた点



#### 企業が注目する点



#### ■博士人材より■

- 自分が就職したいのかアカデミアで研究を続けていきたいのかが少クリアになった。
- 自分が知らない事業領域や働き方がまだまだあることや、意外なところで博士人材が求められているという気づきがあった。
- 博士課程の学生ならできて当たり前であると思っていたことが、実際には自分の強みの一つであると気付けた。

#### ■企業担当者より■

- 初めて参加しましたが、学生さんの魅力が伝わる意義深い取り組みだと思いました。学生さん方が、積極的に企業メンバーに声をかけ、ポスターに誘導されたり、非常に積極的であると感じました。
- 「赤い糸会」は数ある博士イベントの中でも非常に完成度の高いイベントであると思います。
- 質の高い学生さんにお会いすることができたので、満足しております。

## OBとして赤い糸会に参加して

中川 淳史

JSR 株式会社  
電子材料事業部 精密電子開発センター リングラフィー材料開発室  
2018年3月 北海道大学 大学院  
総合化学院 博士後期課程修了



私は学生時代に赤い糸会に参加し、そこでご縁のあったJSR株式会社に半導体材料の研究開発員として現在勤務しております。今回、対面での開催にOBとして初めて参加させていただきました。私が学生の頃と変わらず配慮の行き届いた運営に安心するとともに、参加学生の専門性が以前よりも非常に幅広くなったと感じました。

赤い糸会は、進路の視野を広げる意味でも、採用面接の練習の意味でも非常に有意義な会であると感じています。博士課程の学生は、研究のハードワークの隙間を縫って進路決定をする必要があり、両立に苦心しているものと思います。赤い糸会では、多くの企業と直接交流でき、思わぬニーズを聴取することや自分の研究に対する客観的な意見をもらうことができます。これらはそのまま企業理解と本番の面接対策になります。

専門領域を中心に興味の広がりを意識することは、キャリアを考える上で重要なヒントになると思います。例えば、現在の専門と近い企業就職・部署配属となったとしてもその仕事が未来永劫続くとは限りません。自分の興味のある領域と会社の事業領域の共通部分が大きければ、多少仕事に変動があっても納得して取り組むことができると思います。そういった視点を持って企業理解を深めてみてはいかがでしょうか。

弊社も含め多くの企業が博士へ寄せる期待は高まっています。実際、責任の大きい仕事を任されるタイミングも早く、待遇も優遇されていると感じます。ただ、それは企業の先行投資であり、成果主義は避けて通れません。成果というのは売上といった数値だけでなく、研究開発プロセス全体が評価されます。個性のある新しい発想をする、それを具体的に実現するためのコミュニケーションを主導するといった点で、博士課程で培った論理的思考や洗練された資料・論文作成、議論の経験が仕事で必ず役に立ちます。ぜひ将来像を描きながら目の前の研究を大成させていきましょう。

## 赤い糸会に参加して

小南 彩夏

水産科学院 海洋応用生命科学専攻 (DC3)  
2026年3月修了予定  
→富士通株式会社内定



私は以前、卒業後も研究を続けるためにポスドクや水産教育研究機構、道総研といったアカデミアを進路に選ぶのが一番だと思っていました。良く語られる「企業では自由な研究ができない」といった言葉を信じていたのが理由の一つです。しかし、ある時からそれが自分の経験ではなく、企業で研究をされている方から直接聞いた話ですらないことに気が付きました。もう一つアカデミアに残りたいと考えた理由がこれまでの研究分野である分子生物学を続けたい、というものでした。その一方、研究で触れたデータ解析にも興味をそそられており、同じ分野を選ぼうとしているのは変化を恐れているのが大きな理由かもしれないと思うようになっていました。

そんな自分の中の矛盾を解消するべく参加したのが赤い糸会でした。まず驚いたのが、イメージとは異なるような、思ってもない事業や研究に手を広げている企業があることでした。また、赤い糸会を通してインターンシップに参加させていただいたところ、想像よりも自由度が高い研究をしている場合があることを知りました。さらに、赤い糸会を通して知ったセミナーに参加するうちに、自分の中に様々な思い込みがあることに気が付きました。これまでいろいろな人や媒体からバイアスのかかった情報を受け取っており、それによって「こうでなくてはいけない」「これが普通」といったように思考が固まっていたのです。

これらの経験を通して最終的には新しいチャレンジをしたいという気持ちが大きくなりました。そして、その選択をしても良いのだと自分を肯定できるようになり、企業への就職を決めました。また、世界にはまだまだ知らないことや新しい考え方があり、それを自由に選択し、その選択に責任を持つことが私にとっては心地よいと気づき、就職についてだけでなく今後の生き方についても考え直す機会となったのです。私の場合は赤い糸会がきっかけとなりましたが、これを読んでいる方もそのようなきっかけに出会うことができるよう願っております。赤い糸会がそのような機会になりそうだと感じたならば、ぜひ参加してみてください。

## プレゼンテーション演習

「赤い糸会」に参加する博士人材は学会で専門家を相手に自身の研究内容を発表することには慣れていますが、ここに参加する企業の担当者は研究内容に関してはあまり詳しくない場合が多いです。そのような相手に対し、専門性の高い内容をそのままぶつけても理解されません。本プログラムでは一般の人々に如何に自身のスキルや人間性を伝えるかを修得します。2025年度は、赤い糸ONLINEに用いるプレゼンスライドの作成および対面の赤い糸会に向けたポスター作成のポイントやアピール方法について演習しました。

### 2026年度開催予定

各回の赤い糸会に先立って実施予定



# ⑩ 企業研究サイトビジット

DC・PD

1. 実際に企業活動の現場を見よう!
2. 企業視線での自身のスキル評価!
3. 大学と企業で研究の差異を認識!

「赤い糸会」に参加し、企業との接点を構築した博士人材を、ただ企業を訪問するだけではなく、実際に企業の研究者の前で自身の研究内容を発表し、企業研究の目線を見たコメントや指摘を得、意見交換をすることにより、具体的な産業界への出口のイメージを構築します。

## 2026年度実施予定

年2回程度実施予定

## これまでの訪問企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ キリンホールディングス	■ 住友化学	■ 特許庁
■ 味の素	■ 神戸製鋼所	■ ダイセル	■ 日本電気
■ 旭化成	■ サントリー HD	■ 大日本住友製薬	■ パナソニック
■ アステラス製薬	■ シスメックス	■ 田辺三菱製薬	■ 三菱電機
■ 大塚製薬	■ 資生堂	■ 中外製薬	■ 三菱レイヨン
■ カネカ	■ 島津製作所	■ 帝人	■ ヤンマー
■ 京セラ	■ 秀和特許事務所	■ 東レ	

## 2024年度実施状況



アステラス製薬



住友化学



中外製薬

## 2025年度実施状況



味の素



キリンホールディングス

## 企業研究サイトビジットに参加して

宮崎 朔多

生命科学・先端生命科学院 生命科学専攻 (DC2)  
2027年3月修了予定



企業の概要説明や質疑応答は説明会に参加すればできることかもしれないし、施設見学も公開可能な範囲に限られることが多いかもしれない。それでも本イベントには、参加した意義や価値が大きく二つあると感じた。

まず一つ目は、企業の方に向けて自分の研究のポスター発表ができることである。これの何が良いかというと、彼らが私たちの研究のどこを気にするのか、そして人材としての私たちの何を知りたがるのかかなりの解像度でわかることである。指導教員や他大学の先生など、普段接しているアカデミアの人々とは着眼点が明らかに違う。「こんなに一生懸命語ったのに全然食いついてこない」「そこに注目されると思わなかったな」「私のこの一面にこんなに興味を持つのか」と、そういう瞬間ばかりである。こういったことを頭、というより体で知っておくと、そこに限らず企業の選考にエントリーするときに何が“ウケる”のか、何が刺さるのかがよくわかるため、それが書類だろうと面接だろうとかなり大きな武器になると感じる。

そしてもう一つは、その企業がある街を自分がどう思い、感じるのかを知れることである。そこで働くということはそこで暮らすということである。自分がそこを都会だと思うか田舎だと思うか。交通の便の良さ悪しは気になるか。駅前の雰囲気は、気候は、食べ物は、すれ違う人々の雰囲気は…。住めば都とはいうが、その街を愛せることはその企業で働きたいと思えること以上に大切である。その街の居心地の良さ悪しは就活中の身にはどうでもよいことのように感じるだろうが、おそらく就職して数ヶ月後にびっくりするくらい“効いてくる”ことなのだろう。「街は企業よりも大きい」という、当たり前だが忘れがちなことを感じさせてくれると思う。

以上のように、本イベントは企業理解に留まらず、自分の伝え方と働き方を同時に見直す機会となった。

## II 博士力実践インターンシップ

DC・PD

1. 実際に企業活動を体験してみる!
2. 自身が企業に向いているか判断!
3. 企業ならではの新しい視点獲得!

国内外の先進企業(グローバル企業・ベンチャー企業・オンリーワン企業)や公的機関、大学も含めたインターンシッププログラムです。企業における研究開発等の実体験を通して、説明会だけではわからない多様な社会での活躍方法を体得する機会です。企業が公募しているインターンシップにとどまらず、希望する企業との接点づくりから支援します。是非この機会に応募されませんか?

1. 大学院共通授業科目「博士インターンシップ」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)「博士インターンシップ」(2単位)

### インターンシップ概要

対象者	北海道大学に所属する博士後期課程院生、博士学位取得後5年以内の者(パーマネント職員を除く)
人数	10名
受入企業	国内外の企業・大学
期間	1~3ヵ月程度
条件	学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険(インターンシップ保障)に加入すること。その他詳細条件は受入企業によって異なる。

### 受入企業からの声

### 企業が博士に期待するもの

- 競争を勝ち抜く強い意思
- グローバルな視点と統合力
- 自ら課題を発見し、その解決策を生み出す力
- 市場のニーズを敏感に感じ取る知性と感性
- 基盤となる学術の確実な理解と、常に自ら学ぼうとする強い意欲に裏打ちされた異分野技術者とのコミュニケーション能力とフレキシビリティ

### インターンシップに参加して 井上 夏緒

保健科学院 保健科学専攻 (DC3)  
2026年3月修了予定  
→株式会社島津製作所内定



私はD2の春に島津製作所で6週間のインターンシップに参加しました。きっかけは、D1の秋に参加した「赤い糸会」でした。当時はどちらかといえばアカデミアよりも企業に行きたいと考えていました。そこで様々な企業の方と話す中で、自分の専門性を活かせる環境が島津製作所にあるのではないかと感じ、応募を決めました。

私は主に医療機器の製品開発を担う事業部で研修させていただきました。今回のインターンシップの特徴は、決められたテーマに応募するのではなく、学生が自らやりたいテーマを提案できたことです。事前の打ち合わせでは、私の希望を実現できるように企業側とキャリアデザインセンターが調整してくださり、充実した研修期間を過ごすことができました。全てのインターンシップが今回のような形式になるわけではないと思いますが、学生一人ひとりに柔軟に対応してくださるところは、博士学生向けインターンシップの大きな魅力の一つだと思います。研修中は、実験だけでなく社員の方と一緒に関連企業に出向き、実際の業務を見学させていただくこともありました。この経験から社員のリアルな働き方を知り、「自分が会社に入ってやりたいことは何か」、「どんな働き方をしたいのか」という就活の軸を明確にできました。これはその後の面接でも大いに役立ちました。

インターンシップはその企業の実態を深く理解できるだけでなく、自分の将来について真剣に考えられる貴重な機会だと思います。長期のインターンシップのデメリットとして研究の遅れが挙げられますが、専門外の方にも研究内容をわかりやすく伝える練習になったり、自分の研究を別の視点から見直すきっかけになったりと、博士課程の研究活動にもプラスに働きました。興味がある方はぜひキャリアデザインセンターに相談してみてください。

## 博士インターンシップ報告会

MC・DC・PD

主に民間企業への中長期インターンシップ(1ヶ月~3ヶ月程度)を体験した現役博士による体験報告会です。

### 2025年度実施状況



### 2025年度受講者アンケートより

インターンシップでの経験はもちろんのこと、博士課程進学者における就職活動の心づもりや流れ、考え方を聞くことができ、非常にためになりました。報告会後の座談会でも気軽に質問することができ、自身の持つ不安や“わからない”を解消することができました。

実際に企業の参加する感想を知ることができて興味深いと思いました。

2014年10月に文部科学省に採択された、連携型博士研究人材総合育成システムの構築事業により、北海道大学が代表機関となり、東北大学・名古屋大学の3大学のコンソーシアムが発足しました。現在は大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、立命館大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携し13大学に規模が拡大しており、事業期間(8年間)が終了した後も継続して活動しています。また、この事業は科学技術振興機構による事後評価で最高位の「S評価」を受けています。当イベントに参加して内定した学生が翌年以降に企業側で参加する等、本学のイベントとして着実に根付いています。本コンソーシアムでは各大学が独自に設計、推進している博士課程学生(DC)や博士研究員(PD)に対する洗練されたキャリアパス多様化支援プログラムのうち、相互に内容の補強、補完が期待できるものを選定し、どの大学からも参加できるようにすることで、コンソーシアム形成のメリットを最大限生かした一層効果的な人材育成プログラムを構築します。これにより、例えば本学の赤い糸会に他の12大学からも参加できますし、12大学が実施する様々なプログラムに北大から参加も可能となります。参加希望者はまずHi-Systemに登録し、ご利用ください。

## イノベーション創出人材連携育成プログラム

### 13大学が連携し、博士人材を育成



英語プログラムを実施する

# I-HoP

外国人DC・PDを支援!

Graduate Career Development for International Students and Researchers

## CAREER LINK MEETUP

-For international DC and PDs-(英語版赤い糸会)

外国人DC・PD

- 1.全編英語で行う赤い糸会!
- 2.応募時点で日本語力を求めない企業との直接交流!
- 3.外国人博士の日本での活躍の可能性を広げる!

「博士向け」+「使用言語:英語」のマッチングイベントを全国に先駆けて2019年に初開催、2025年度で7回目の開催となりました。当イベントに参加して内定した留学生が翌年以降に企業側で参加する等、本学のイベントとして着実に根付いています。企業7社~10社、外国人博士人材20~40名が参加し、日本語の赤い糸会同様に、企業からのショートトーク、博士人材による研究スキルやキャラクターの発表、企業のブースセッションにより、密度の高い交流を行います。I-HoPでは今後の継続開催に向けて、応募時点で日本語力を要求しない(英語で採用の可能性ある)企業の情報を収集しています。

2026年度実施予定

年1回程度  
実施予定  
外国人DC・PD対象

### これまでの参加企業

(敬称略、AtoZ順)

- Accenture Japan Ltd(アクセンチュア) ■Astellas Pharma Inc.(アステラス製薬) ■AWL, Inc.(アウル) ■Cadence Design Systems, Inc.(ケイデンス)
- Cambridge Consultants Japan Inc(ケンブリッジコンサルタンツ) ■Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.(中外製薬) ■enU Pharma, Inc.(遠友ファーマ)
- GPSS Group ■Horizon Illumination Lab Optics, Co. Ltd.(HILO株式会社) ■INDETAIL Co., Ltd.(インディテール)
- Kozo Keikaku Engineering Inc.(構造計画研究所) ■KPMG Ignition Tokyo, Inc. ■KYOCERA Corporation(京セラ) ■Leave a Nest Co., Ltd.(リバネス)
- Letara Ltd. ■Mitsubishi Aircraft Corporation(三菱航空機) ■MOLCURE Inc.(モルキュア) ■Nanofiber Quantum Technologies, Inc.
- National Institute of Advanced Industrial Science and Technology(AIST,産総研) ■NEC Corporation(日本電気)
- NIKON SOLUTIONS CO., LTD(ニコンソリューションズ) ■Nippon Boehringer Ingelheim Co., Ltd.(日本ベーリンガーインゲルハイム)
- Oxford Quantum Circuits ■Quantinuum K.K.(クオンティニウム) ■Rakuten Mobile, Inc.(楽天モバイル) ■Ridge-I Inc.(リッジアイ)
- ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd.(ロート製薬) ■Sanoh Industrial Co., Ltd.(三桜工業) ■Shiseido Company, Limited(資生堂)
- Sony Computer Science Laboratories, Inc. ■Xiberlinc Inc. ■Sony Corporation(ソニー) ■Systemex Corporation(シスメックス)

### 参加者アンケートより



-The event was highly informative and provided efficient networking opportunity between students and companies.

-We worked very productively with the company's representatives and gained knowledge about the skills needed to work in the industry.

-It was a great chance to talk with companies in English, and the good thing about this interaction was that at least the language gap was not an issue. All the discussions and meetings were fruitful and I got interested and will be applying to a couple of companies after attending this event.

-It is a really good avenue to introduce us, international students, not just to Japanese companies but to the whole employment market as a whole. It gives us more confidence to push through in our goal to work in Japan and enlighten us what to expect, what to do and how to tackle the job hunting culture of this country.

## 移転可能研究力強化セミナー

外国人DC・PD

- 1.英語による多様なセミナーを開催!
- 2.海外の研究者との交流!
- 3.視野をグローバルに広げる!

主に外国人博士人材の研究力強化、キャリアパス多様化等を目的として「英語論文執筆セミナー」「日本でのビジネスマナー」「海外でポジションを獲得した先輩留学生による講演」等の多様なセミナーを英語で開催しています。

2026年度実施予定

これまでの開催セミナー(抜粋)

調整中

DC・PD対象(日本人含む)



-Improving Your Oral Presentation Skills

-Career Guidance for Students going into PhD Course

-Building Academic Career in Japan for International Students

-Writing a Compelling Article for Journal Submission

-Tips for designing your presentations: What I learned from scientists abroad

-Being with Yourself, Not Against Yourself: Mindfulness for Flourishing in Graduate School

北海道大学 教育イノベーション機構 キャリアデザインセンター  
センター長  
教授 吉原 拓也



キャリアデザインセンターのS-cubicでは、大学院学生(MC・DC)や博士研究員(PD)等若手研究者に対し、多様なキャリアパスを開くための能力開発プログラムを提供しています。これは科学技術・知識に基づく高度な研究力を有する研究者が社会の多様な分野において責任ある立場で活躍するために必要なスキル(Transferable Skills)を提供するプログラムです。平成18(2006)年度にS-cubicがスタートして以来、多くの企業や教員の方々のご協力を得、10年以上の試行錯誤と改良を重ね、「Advanced COSA」、「キャリアパス多様化支援セミナー」、「赤い糸会」等の厳選されたプログラムを開発普及定着に努力し、さらに「キャリアマネジメントセミナー」、「博士力実践インターンシップ」、「Advanced COLA」などの新プログラムを軌道に乗せることができました。

平成23(2011)年度以降はこれらプログラム単独、あるいは組み合わせで4つの科目を大学院共通授業科目として単位化しました。これ以外にも、MC・DC・PDと企業の登録制Webコミュニケーションシステム「Hi-System」、DCやPD専用の進路相談窓口「J-window」等のサポート機能を充実させています。その結果、多くの企業の方々から、「ぜひ北大のプログラムに参加したい」「北大の博士を採用したい」などの嬉しいコメントが寄せ

られており、これは長年に渡るS-cubic活動の積み重ねの成果と考えています。

また平成26(2014)年度秋から、本学と同様に人材育成プログラムを展開している東北大および名古屋大の3大学がコンソーシアムを組み、それぞれのプログラムに相互乗り入れ、参加枠提供などの協働ができるようになったことで、ますますその内容が充実しています。さらに3大学コンソーシアムは新たな参加大学を迎え、令和4(2022)年度までに13大学まで発展することとなり、その人材育成プログラム群は多様な若手人材が集う場としていっそうの広がりを見せています。これらの実態については、本冊子「S-cubic通信」に詳しく記載しましたので、ぜひご一読ください。

S-cubicは、皆さんが自らの進路やキャリアを開拓していくために必要なスキルを身に付けるための情報や活躍の場を広げるためのマッチングの場等を提供します。まずHi-Systemに登録しプログラムに参加してみてください。きっと視野が大きく広がると思います。またプログラム参加経験者は仲間にその情報を是非伝えてください。皆さんのご活用を期待しています。

## キャリアデザインセンター 博士人材育成ユニット 組織と役割

キャリアデザインセンターは学部から博士まで継続的なキャリア教育、キャリア支援を担当しておりますが、その中で博士人材育成ユニットは博士後期課程学生(DC)や博士研究員(PD)を担当しています。本学の博士は北海道大学が提供するプログラムに加えて、本学がコンソーシアムを組んでいる連携大学によるプログラムにも参加することができます。博士人材育成ユニットはこれらの活動により、博士一人一人の特徴を活かす多様なキャリア教育、キャリア支援を実施しています。

総長

理事

教育イノベーション機構

### キャリアデザインセンター

#### S-cubic

1. 博士人材の就職支援事業の実施、意識調査、カウンセリング/J-window
2. 人材関係情報(大学院生、研究者、教員、企業)の交換や集積と解析/Hi-System
3. キャリア形成プログラムの開発と推進/Advanced COSA、Advanced COLA、キャリアマネジメントセミナー、キャリアパス多様化支援セミナー、演習や講習
4. 企業情報の直接入手とマッチング、自己PR能力向上/赤い糸会
5. 博士力実践の向上と実務体験/博士力実践インターンシップ

#### I-HoP(国際人材育成プログラム)

1. 海外からの若手研究者の意識調査、国内外大学院キャリア支援組織の調査と連携
2. 英語によるキャリア相談窓口設置
3. 英語によるキャリア形成プログラム開発

#### COFRE

1. 北大、東北大、名大で協働して若手研究者育成(現在は、大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、神戸大学、兵庫県立大学、立命館大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携)
2. 施策の相互乗り入れ、参加枠提供、共同開催

